



**全国障害者スポーツ大会に
第1回から役職員が
ボランティア参加**

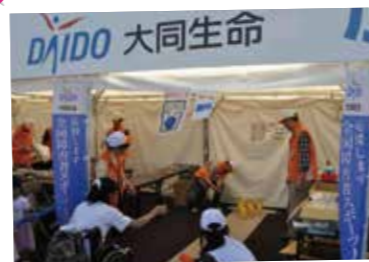
**ボランティア参加で
交流がうまれる**

大同生命保険株式会社は、企業市民として、地域・社会の健全な発展に貢献するため、様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。その活動の一環として、障害者スポーツの普及・発展に向け、全国障害者スポーツ大会の前身である全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）の第1回東京大会（平成4年）から継続して、同大会の特別協賛を行っている。

累計で20億円の特別協賛金を贈呈するとともに、開催地の同社営業拠点では、大会開催の約1年前から役職員が、大会ピンバッジの着用やお客様への案内チラシの配布等、広く大会をPRする活動を実施している。

また、大会の盛り上げに協力するため、T&D保険グループ各社を含め、関係団体の役職員やその家族が、大会の式典観覧や競技観戦を通じて、選手を応援するとともに、大会会場に特設ブースを設置し、運営ボランティアとして積極的に参加している。特別協賛を開始した平成4年以来、大会参加者数は延べ約1万人となった。

なお、特設ブースではゲームやイベントを通じて、選手や応援に来た方々と交流できるふれあいの場も提供している。



連日多くの人で賑わう特設ブース



社員のボランティアと一緒に
盛り上がるブース内



開会式を観覧する役職員やその家族



所在地
中央区

業種
生命保険業

総従業員数
約7,000名

役職員のボランティア参加を支援

ボランティア休暇制度や交通費の補助

特別協賛を開始した平成4年に役職員による自主的な企業市民活動組織として「大同生命社会貢献の会」を設立し、活動交通費の補助など、役職員のボランティア活動の参加を支援している。

また、会社も役職員の活動を支援するため、ボランティア休暇制度を整備している。



【全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）】

回	年次	大会	ボランティア参加人数
第1回	平成4年	東京	300名
第2回	平成5年	熊本	304名
第3回	平成6年	群馬	504名
(第4回 平成7年 兵庫大会は 阪神・淡路大震災のため中止)			
第5回	平成8年	北海道	448名
第6回	平成9年	愛知・名古屋	950名
第7回	平成10年	茨城	900名
第8回	平成11年	島根	337名
第9回	平成12年	岐阜	1,043名

【全国障害者スポーツ大会】

回	年次	大会	ボランティア参加人数
第1回	平成13年	宮城	430名
第2回	平成14年	高知	291名
第3回	平成15年	静岡	413名
第4回	平成16年	埼玉	292名
第5回	平成17年	岡山	286名
第6回	平成18年	兵庫	317名
第7回	平成19年	秋田	200名
第8回	平成20年	大分	185名
第9回	平成21年	新潟	204名
第10回	平成22年	千葉	320名
第11回	平成23年	山口	191名
第12回	平成24年	岐阜	206名
第13回	平成25年	東京	1,001名
第14回	平成26年	長崎	238名
第15回	平成27年	和歌山	655名

※平成4年から平成27年までのボランティア参加人数合計：10,015名

障害者アスリートをミュージカルに招待

平成27年7月から、障害のあるアスリートとその家族に夢と希望を届けるため、同社が特別協賛している劇団四季ミュージカル『アラジン』の公演に招待している。（これまでに4団体76名を招待（平成27年12月現在））

この取組を通じて、障害のあるアスリートが所属する競技団体の紹介や、観劇後のアスリートの感想等を社内外に情報発信し、競技や選手に対する関心を深める活動も行っている。



STAFF'S VOICE

平成27年度の全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）では、大会3日目が平日の月曜日ということもあり、「ボランティア休暇制度」を利用して多数の職員が大会に参加しました。

また、T&D保険グループの各会社に協力を呼びかけたり、和歌山県に隣接する京阪神圏から参加がしやすい貸切バスを手配するなど工夫を行い、ボランティア参加者は655名に上りました。